愛知県議会議員

桜井ひでき

現場の声を
県政に!

県政レポート

2024年夏号
発行：桜井ひでき事務所
vol.22

議員をより身近に
感じていただくために
意見交換会を実施！

▲全トヨタ労連のみなさんと県議会委員会室にて

message

改めて防災について考えましょう!

本年、1月1日に能登半島を中心に襲った巨大地震がありました。また、本格的な夏に突入し、各地で頻発する豪雨災害に加え、近年の異常気象ともいえる夏の暑さによる熱中症など、自然災害を身近に感じる機会が増えています。現在、愛知県では、国がまとめた「能登半島地震に係る災害応急対応自主点検レポート」を参考にしながら各種災害に関する計画改定を進めているところであります。一方で**行政がすべての市民・県民生活を守ることにも限界があり、「自助」としてのあり方を含め、今年は、改めて防災について考える夏にしたいと思います。**

TOPICS 1

ユタカクラブ議員協議会総会・研修会を開催！

ユタカクラブ議員協議会は、トヨタグループ出身の地方議員51名で構成する政策集団で、政策実現に向けて議員の資質向上に向けた研修会等を議員自ら企画して活動しています。今回、52回目の総会にあたり**参議院議員の礒﨑哲史議員よりご講演をいただきました。**

次世代における自動車産業の発展に向けてというテーマで、現状の取り巻く環境に加え、世界の次世代自動車普及の動向や各国の電動化目標について伺いました。

〈今後の自動車の動向〉
電動化は、時代の流れではあるが、当面はエンジン車との併存が続く見通し

〈日本の電動化目標〉
2035年電動化100%
（BEV･PHEV･FCV･HEV）

▲会長挨拶

▲礒﨑さん講演

▲桜井×礒﨑さん

参議院議員
礒﨑哲史議員

＊今後もユタカクラブとして「参議院議員礒﨑哲史さん」を全力で応援します！

令和6年5月臨時議会&6月定例議会を開会!

「産業首都あいち」「国際イノベーション都市」を目指す議会を開会!

代表質問

5月臨時議会を5月22日(水)、6月定例議会を6月14日(金)~7月3日(水)までの会期で開催され、自由民主党・あいち民主の2会派が代表質問を行い、あいち民主県議団からは、総務会長である安井伸治議員(港区選出:3期)が登壇し、県政諸課題について県の考えを質問しました。

質問1 STATION Aiの開業に向けた取組について

Q 日本の成長エンジンである本県産業のイノベーション創出に向け重要な拠点となるSTATION Aiのグランドオープンまで5か月を切ったが、開業に向けた現在の進捗状況について伺う。

▶安井伸治総務会長

大村知事 答弁 STATION Aiの施設整備については、スタートアップにとって最適解となる拠点の整備を着実に進めている。また、このSTATION Aiの会員募集については、本年4月から開始し、国内外に広くプロモーションすることで、多くの方に関心をもっていただき、スタートアップはもちろんのこと、モノづくり企業を始めとする事業会社や金融機関、教育機関など、多様な属性の団体から申し込みがある。海外スタートアップや海外企業の誘致活動にも力を入れており、先月、アメリカのシリコンバレーにおいて、Googleを始め、世界的IT企業の本社を訪問し、STATION Aiへの誘致や連携の呼びかけを行った。**STATION Aiの開業は、この地域の産業はもとより、地域づくりそのものをアップデートする大きな好機である。引き続き、着実に準備を進め、世界に類例のないスタートアップ・エコシステムの拠点形成を進めていく。**

質問2 ギャンブル等依存症対策について

Q 県では、ギャンブル等依存症対策にどのように取り組んでいるのか伺う。

大村知事 答弁 ギャンブル等依存症は誰もがなり得る可能性があるが、早期に相談や治療につなげることにより、病状の回復が期待できる病気。本県では、2023年3月に第2期愛知県ギャンブル等依存症対策推進計画を策定し、ギャンブル等依存症の発症予防、進行・再発予防及び回復支援、基盤整備等の取組を総合的に推進。近年、ギャンブル等依存症の若年化が問題となっていることから、発症予防の取り組みとしてSNSを使った情報発信や啓発動画の配信を行うなど、若い世代への知識の普及を図っている。また、**ギャンブル等依存症の方が地域で適切な医療を受けられるよう、県内4か所の医療機関を依存症専門医療機関として選定し、医療提供体制の整備に努めている。依存症状態から回復するための支援としては、愛知県精神保健福祉センターをギャンブル等依存症相談拠点として位置づけ、依存症の治療に効果がある認知行動療法を利用した回復支援プログラムを行うとともに、司法書士による債務整理相談を実施している。**引き続き、各種施策を積極的に実施し、ギャンブル等依存症の方とその御家族が日常生活、社会生活を円滑に送ることができるようしっかりと取組んでいく。

▶答弁する大村知事

質問3 部活動の地域移行・地域連携について

Q 今年度は、3年間の「改革推進期間」の2年目となるが、本県における休日部活動の地域移行・地域連携の進捗状況はどうか、また、市町村の取り組みが円滑に進むよう、県として、今後どのように取り組んでいかれるのか伺う。

飯田教育長 答弁 現在、国の方針を受け、全国の市町村において部活動改革が進められており、本県では7割を超える40市町村が、既に地域移行・地域連携の方向性を決定し、取組を始めている。江南市や東浦町などでは、一部の種目で地域クラブ活動をスタートしており、長久手市では、今年の9月から全面的に地域クラブ活動に移行する。岡崎市では、市内の中学校をグループに分けて、まずは合同で部活動を行うことで、教員の負担を軽減し、段階的に地域の活動に切り替えていく。こうした中で、県では、教員に代わる指導者の確保と負担軽減のため、人材バンクを5月1日に開設し、5月末までの1か月間で322人の指導希望者の登録があり、そのうち5人のマッチングが成立。登録者には、アメリカンフットボールやボルダリング、和太鼓、マンガなど、新しい活動の可能性を感じさせる種目の指導希望者もおり、地域移行に向けて子供たちの活動の広がりが期待できる。また、**改革推進期間の2年目となる今年度は、全ての市町村が参加する協議会を立ち上げ、先行する市町村のノウハウを学んだり、同じ課題を抱える市町村同士の連携を強化し、まだ方向性を決めていない14市町村には、今年度中に方針とスケジュールを定め、来年度には、国の実証事業を活用するなど、実践を始められるよう促していく。**

▶答弁する飯田教育長

主な議案

5月臨時議会&6月定例議会で上程され議決した議案を紹介します。

医療的ケア児に対して看護師配置に補助します

私立幼稚園における医療的ケア看護職員等の配置に要する経費について、国の補助に県独自で上乗せし、費用負担を軽減することで、医療的ケアの環境整備を促進します。

○補助対象者:私立幼稚園の設置者

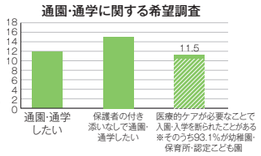
<事業スキーム>

国(文部科学省) ↓補助 1/3
愛知県 ↓補助 1/3
市町村 ↓補助 1/3

設置者
医療的ケア看護職員等を配置する私立幼稚園
↑
医療的ケア児

医療的ケアってどんなもの?
病院以外の場所で"たんの吸引"や"経管栄養"など、家族が医ケア児に対し、生きていく上で必要な医療的援助のことです。

医療的ケア児の抱える問題
近年の新生児医療の発達により、医療的ケアが必要な子どもが急増しています。



抜粋:愛知県医療的ケア児者実態調査(2019年実施)より

愛知の「発酵食文化」の魅力を国内外へ発信し、外国人観光客の誘致を推進します

愛知「発酵食文化」振興協議会の事業を通じて、地域をあげて愛知の「発酵食文化」の振興及び国内外への魅力発信を行い、外国人観光客の誘致を図ります。

協議会概要	
設立年月日	2024年5月1日
目的	愛知の「発酵食文化」について振興し、国内はもとより海外に発信する取組を推進することで、旅の目的地、デスティネーションとしての愛知の認知度を高め、世界から多くの人を呼び込む。
会長	愛知県知事
構成員	有識者、業界団体、自治体、商工・観光団体など計95名(2024年5月1日現在)

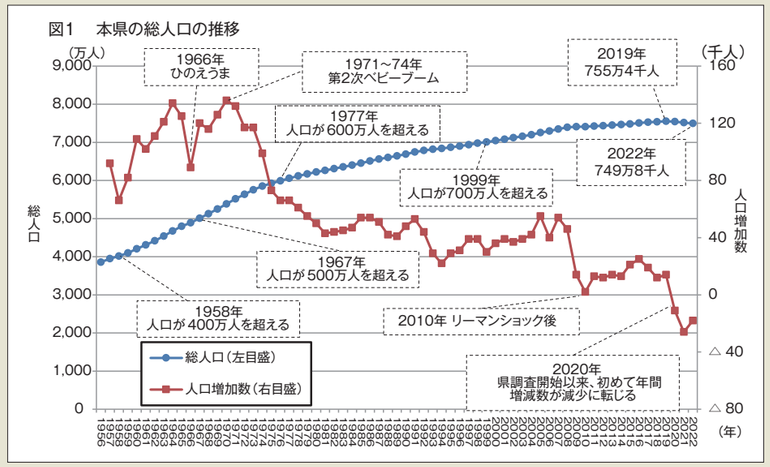
愛知県は、古くから多種類の発酵調味料や発酵食品を使った料理を通じて、特徴ある食文化を味わうことができる地域であり、現在の世界的な「発酵食文化」への関心の高まりは、愛知のデスティネーション(旅の目的地)としての認知度向上につなげていく絶好の機会となっています。

TOPICS 2 愛知県・市町村人口問題 対策会議を立ち上げました!

愛知県の人口は、2019年の約755万4千人をピークに4年連続で減少し、また、人口減少地域が県内全域に広がっていることから、人口問題は県全体に関わる重要な課題となっています。とりわけ、県内54市町村のうち11市町村については、旧88市町村(平成の合併前の市町村数)別の人口が、**2005年と2020年を比べて10%以上減少**している地区があり、当該地区における人口問題対策が特に必要であると考えています。

10%以上減少している11市町村
岡崎市、豊田市、西尾市、新城市、田原市、愛西市、南知多町、美浜町、設楽町、東栄町、豊根村
出典:愛知県「あいちの人口」をもとに作成
(愛知県人口問題対策プランより)
※総人口は各年10月1日現在、人口増加数は前年10月~当年9月

図1 本県の総人口の推移



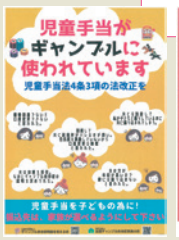
TOPICS 3

ギャンブル等依存症を理解しましょう！

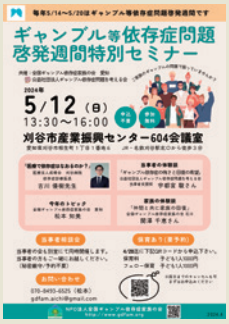
代表質問でも取り上げました、ギャンブル等依存症について考えましょう。毎年5月14日～5月20日まではギャンブル等依存症問題啓発週間です。刈谷市で開催された特別セミナーに参加をしました。

セミナーでは、医者の立場･当事者の体験談･家族の体験談の話がありました。**依存症のメカニズムは、脳にギャンブル等の刺激による「新たな回路」ができ、さらにそれが刺激により活性化されることから、誰にでも起こりうる可能性があります。**回路を断ち切ることは出来ませんが、仲間と共に悩みを共有することで抑制することが出来ます。皆さんの周りにも悩まれている方などいましたら、下記までご相談･お声がけください。

『全国ギャンブル依存症家族の会 愛知』
メール：gdfam.aichi@gmail.com
WEBサイト：



また、「児童手当がギャンブルに使われている」「オンラインカジノは違法（犯罪）」という問題もクローズアップされてきています。



▲古川先生

▲主催者松本さん

▲県内の地方議員も課題認識を持って取り組んでいます!

日々の活動

4/2 豊田警察署 御立交番が完成

老朽化に伴う建て替えでありますが、昨今の交番襲撃や感染症対策が折り込まれたものになっています。また、女性専用のトイレも整備されていました。

4/28 愛知県障がい者スポーツ大会が開催

開会式でご挨拶の機会をいただき、選手みなさんを激励するとともに2年後のアジアパラ大会を告知させていただきました。

5/21 浜岡原子力発電所を視察

あいち民主県議団、政策推進議員連盟、GX推進議員連盟の有志で視察させていただき、改めて日本のエネルギー問題に向け考える機会となりました。

5/25 連合愛知豊田地域協議会 ゴミゼロ･除草活動に参加

20年以上続く活動に組合役員のみなさんと参加をさせていただきました。きれいな街豊田に少しですが貢献させていただきました。

6/2 トヨタ自動車高岡工場 でらげんフェスタ

小職も20数年前まで勤務していました。面識がない方が多くなったと感じますが、覚えてくれていて声を掛けていただけることもあり嬉しく思います。

6/9 豊寿会フェスティバル

トヨタ自動車を定年退職された大先輩のみなさんに向け、私たち地方議員の活動に対する日頃の感謝を申し上げました。

ホームページを是非ご覧ください ▶ https://sakurai-hideki.com/

発行：桜井ひでき事務所
〒471-0832 豊田市丸山町10-5-1
TEL 0565-71-1555　FAX 0565-29-0274